キラリ!✦サステナビリティ活動　Challenge for SDGs!!　～世界の共通言語「SDGs」の目標達成に向けた取り組みを進めています～

SDGs（エスディージーズ）とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals」のことです。グローバルな社会課題を17のゴールと169のターゲットに整理したもので「地球上の誰一人取り残さない（Leave no one behind）」をスローガンに、途上国から先進国まで一体となって多岐にわたる活動を行っています。ビジネスの現場でもSDGsは注目されており、世界中のさまざまな業界・企業がSDGsを意識した事業に取り組み、新しい資金需要が金融ビジネスの機会を生み出しています。

当グループでも、SDGsの観点から事業活動の社会的意義を検証し、その持続性を確認しています。三井住友信託銀行では、シニア世代のお客さまが豊かなセカンドライフを送るための学びの場として「シルバーカレッジ」を開催しています。高齢期の住まいや認知症問題、充実した老後の過ごし方など、人生100年時代を迎えた私たちが抱える課題は山積しています。シルバーカレッジは、安心・安全で充実したセカンドライフを送るために必要な備えについて複数回連続のカレッジ形式で学んでいただく場で、これはSDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」と目標4「質の高い教育をみんなに」の達成につながる取り組みです。

この他にも、全社員がSDGsを理解し実践できるよう、2018年10月にSDGs特集を掲載した社内報（冊子）にて当グループがSDGsに取り組む意義や各事業とSDGsとの関連を解説しました。また、SDGsの目標達成につながるWith You活動を実践できるよう、11月から各店部で社内勉強会を実施しています。これらの活動はWith You支店ブログにて随時発信していますのでぜひご覧ください。

どの企業も、そして、私たち個人も、SDGsの達成に貢献できることがあります。三井住友信託銀行は、各事業やWith You活動を通じてSDGs 17の目標達成を目指します！

健康長寿を目指すあなたに！　季節のパワーサラダレシピ

キユーピー パワーサラダ特集 ▶

「パワーサラダ」とは、野菜、フルーツ、たんぱく質、トッピングが一皿でとれ、色々な食材の組み合わせが楽しめるサラダです。
野菜とたんぱく質を共に摂ることで、サラダ単品に比べて栄養バランスも整い、健康な日常生活維持に役立ちます。
毎日の食生活に、パワーサラダを取り入れてみませんか？

調理時間の目安 10分

りんごとゆで卵と豆のパワーサラダ

りんごのさわやかな甘酸っぱさと、豆やカシューナッツがアクセントになっています。マヨネーズのコクとドレッシングの香りがおいしさの決め手です。

材料（2人前）

- サラダクラブ 10品目のサラダ レタスやパプリカ …… 1/2袋（80g）
- りんご …… 1/6個（36g）
- ゆで卵 …… 2個（100g）
- カシューナッツ …… 10粒（16g）
- サラダクラブ ミックスビーンズ（ひよこ豆、青えんどう、赤いんげん豆） …… 1袋（50g）
- キユーピー マヨネーズ …… 適量
- キユーピー にんじんとオレンジドレッシング …… 適量

作り方

1. りんごは皮をむき、ひと口大のいちょう切りにする。ゆで卵は4等分のくし形切りにする。
2. 器に、10品目のサラダ レタスやパプリカ、1、ミックスビーンズを盛りつけ、カシューナッツを散らす。
3. マヨネーズで線描きをし、ドレッシングをかける。

1人分当たりの栄養成分
エネルギー313kcal、たんぱく質11.4g、野菜摂取量40g、果物摂取量18g

メニュー提供
キユーピー株式会社
※禁無断転載

表紙の写真　両神山（りょうかみさん）トラスト（埼玉県秩父郡小鹿野町）

（公社）日本ナショナル・トラスト協会 ▶

「ナショナル・トラスト」は19世紀の英国で発祥した美しい自然や歴史的建造物を市民などからの寄付によって買い取り、守る活動です。日本では1960年代に始まり、現在は全国50以上の地域に活動の輪が広がっています。三井住友トラスト・グループは、「国内のトラスト地を増やすことは私たちの生存基盤を守ることに繋がる」と考えており、ナショナル・トラスト活動を応援しています。

両神山は日本百名山のひとつで、古くから霊山としてあがめられ全国から多くの登山者が訪れます。秩父多摩甲斐国立公園の一部を成していますが、その多くは個人所有の私有地です。2015年、日本ナショナル・トラスト協会は、埼玉県生態系保護協会と共同で、両神山の山頂を含む約1,232ヘクタールの森を取得しました。このトラスト地化により、外国資本による買い占めや開発の心配はなくなります。

首都圏に住む人々の大切な水源の森や、多くの生きものを育む森として、山岳信仰や修験道の歴史・文化的な価値と合わせて、この広大で豊かな森は将来の世代に引き継がれて行きます。

当社のサステナビリティ活動はこちら　サステナビリティサイト ▶　支店ブログ ▶

2018年12月発行　三井住友信託銀行株式会社 経営企画部 サステナビリティ推進室　〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1　電話番号 03(6256)6251

SuMi TRUST With You

2018年度
社会貢献活動 REPORT
vol.3

Special Topic スペシャルトピック
シニア世代の住まい ～バリアフリーリフォームのポイント～

キラリ!✦サステナビリティ活動
Challenge for SDGs!!
～世界の共通言語「SDGs」の目標達成に向けた取り組みを進めています～

健康長寿を目指すあなたに！
季節のパワーサラダレシピ

写真提供：（公社）日本ナショナル・トラスト協会

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

Special Topic
スペシャルトピック

シニア世代の住まい ～バリアフリーリフォームのポイント～

住まいの理想は、住み慣れた環境での生活をなるべく長く継続する「エイジング・イン・プレイス」と言われています。2018年度のWith Youは、エイジング・イン・プレイスをより良く実現するためにリフォームをテーマとし、4回シリーズで最新の情報をお届けしています。

家庭内での事故を未然に防止するためには、年齢や身体状況に合った安全性の高い環境を整え、危険を最小限に押さえておくことが重要です。

3回目となる今回は、大和ハウスリフォーム株式会社・企画部の松田健太課長に「バリアフリーリフォームのポイント」について解説いただきました。

大和ハウスリフォーム株式会社
東京本社 営業本部 企画部 課長
福祉住環境コーディネーター2級
松田 健太氏

家庭内事故の予防

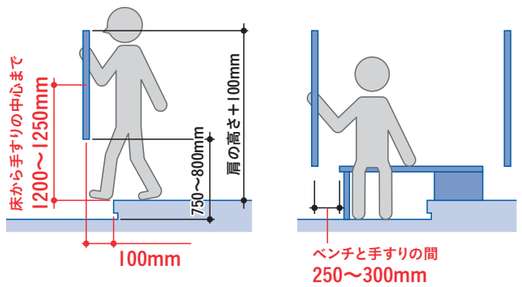
平成27年度の交通事故の死亡者数が4,117人（※警察庁交通局）に対し、家庭内事故による死亡者数は13,952人（※厚生労働省 人口動態調査）と約3.3倍と意外と多いことがわかります。

年代でいうと65歳以上の占める割合が約85％弱と大半を占めており、65歳以上の事故種別では、「不慮の溺死」が約4,700件（約40％）、「転倒・転落」が約2,200件（約18％）と60％近くに上ることから、浴室などの水まわりや移動の安全性を高めることが重要と言えるでしょう。

ひとくちにバリアフリーといっても「手すりをつける」「段差を解消する」といった比較的簡単な工事から「エレベーターの設置」「浴室リフトの設置」などの大掛かりな工事まで、生活される方の身体状況によって、やるべきリフォームの内容は異なります。今回は比較的健常な方が自宅内で安全に生活できるリフォームのポイントをご紹介します。

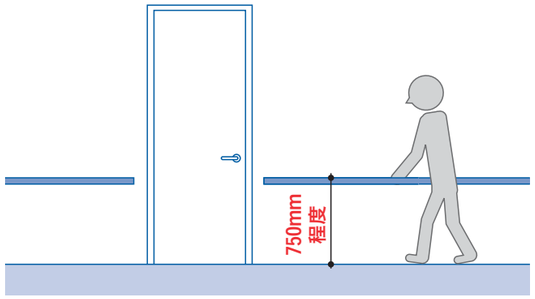
玄関

土間からの昇降や靴の脱ぎ履きのために縦型の手すりを設置します。あわせて、座って靴の脱ぎ履きができるよう、ベンチの設置も効果的です。



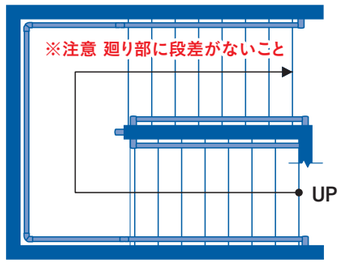
廊下・階段

廊下用の水平手すりは設置の高さ75cmを目安に、できるだけ連続させて設置します。手すりは体重がかかるので、設置する壁に下地があるかを確認する必要があります。



廊下に手すりを設置する場合

階段は、勾配が緩く踊り場があるものが安全ですが、架け替えるとなると上下階の間取りにも影響するため大掛かりな工事になることもあります。階段の手すりの設置はできるだけ両側に連続して設置することがポイントです。

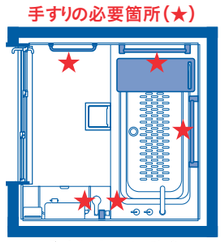


廻り階段の場合

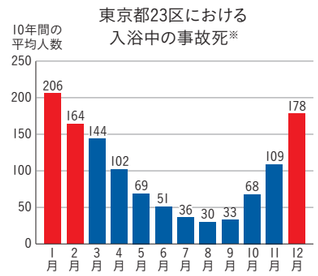
浴室

最近のユニットバスは、洗面脱衣室との段差が無い出入り口や滑りにくい床、低い浴槽のまたぎ高など標準でバリアフリー仕様になっているものが多くありますが、浴室内での移動、浴槽への出入り、洗い場・浴槽での立ち座りなど要所に手すりを設置することが必要です。

また、ヒートショックが原因となる冬場の浴室の事故が多いため、浴室暖房や洗面脱衣室暖房などの設置も検討しましょう。



手すりやベンチを設置する場合



出典：消費者庁公表資料『冬場に多発する高齢者の入浴中の事故に御注意ください！』、平成 28 年 1 月 20 日

※ 東京都福祉保健局東京都監察医務院のホームページに公開されている「東京都23区における入浴中の事故死の推移より過去 10年間（平成16年～平成25年）の月当たりの平均件数」から作図した（小数点第一位以下四捨五入）。 http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kansatsu/oshirase/index.html この図における入浴中のデータは、脱衣所、洗い場、湯船に潰かっている、その全行為時における死者数を集計しています。

補助制度を活用して賢くリフォーム

バリアフリーに関する公的補助制度の主なものをご紹介します。

介護保険

補助金の受給対象者になるのは要支援・要介護に認定されている方で、助成限度額は20万円です。そのうち9割が支給されますので、最高で18万円の補助金を受け取ることができます。（一定以上の収入がある方は2割もしくは3割の負担となります）

介護保険が適用される工事には条件があり、手すりの取り付け・段差の解消・滑りにくい床への変更・引き戸などの扉への取り替え・洋式トイレ等への取り替え工事が対象となります。

必ず事前に申請が必要で、審査結果前に着工してしまうと補助を受けられないので注意が必要です。

地方自治体による補助金

介護保険加入や高齢者でなくてもバリアフリーリフォームに補助金を支給する地方自治体があります。各地域によって支給額や対象の工事内容は異なりますので、お住まいの地域がどのような制度を設けているかよく調べておきましょう。

バリアフリー税政優遇

居住中の住宅のバリアフリーリフォームを行うと、条件を満たせば所得税の減税を受けることができます。また、家屋の固定資産税の減税を受けることもできます。

バリアフリーリフォームは、体が悪くなったから行うのではなく、予防的に行うことが理想だと思います。元気で快適な暮らしが長く続くよう少し早めに対策をすることをお勧めします。

制度の概要	所得税額の控除措置※1		固定資産税の減額措置※1
	投資型減税	ローン型減税	
制度名	【住宅特定改修特別税額控除】	【特定増改築等住宅借入金等特別控除】	【家屋の固定資産税】
減税期間	リフォーム後居住を開始した年分（1年）	リフォーム後居住を開始した年分から5年	翌年度（1年度分）
制度期間	改修後の居住開始日が平成21年4月1日～平成33年12月31日	改修後の居住開始日が平成19年4月1日～平成33年12月31日	改修工事完了期間が平成19年4月1日～平成32年3月31日
対象となるリフォーム	一定のバリアフリーリフォーム（借入金の有無によらない）	償還期間が5年以上の借入金により行う一定のバリアフリーリフォームを含む増改築	一定のバリアフリーリフォーム（借入金の有無によらない）
控除又は減額の上限額	20万円※2	12.5万円/年※3（5年間で62.5万円）	家屋の固定資産税額の1/3（100㎡相当分まで）
バリアフリーリフォーム費用の要件	50万円超（税込）	50万円超（税込）	50万円超（税込）
手続きの窓口	税務署（確定申告）	税務署（確定申告）	市区町村（工事完了後3ヶ月以内の申告が必要）

※1「所得税額の控除」と「固定資産税の減額」は併用して優遇を受けることが可能です。
※2 改修工事費用に含まれる消費税等の税率が8％である場合の金額であり、それ以外の場合は15 万円となります。
※3 改修工事費用に含まれる消費税等の税率が8％である場合の金額であり、それ以外の場合は12 万円となります。

出典：一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会『住宅リフォームガイドブック』

※上記制度は発行時点の内容です。制度は変更になる場合があります。